

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2023年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第12回講義

## 地域の中核としての「大学」

文部科学省大臣官房審議官(高等教育局及び科学技術政策連携担当)

西條 正明 氏

### 西條先生からのメッセージ

産業構造が「資本集約型」から「知識集約型」に大きく転換する中で、多様な知の結節点であり、最大かつ最先端の知の基盤を持つ「知の拠点」としての「大学」の重要性は益々増しており、特に、地域における「大学」の果たすべき役割は極めて大きいものとなっています。

今回は、この地域の中核となる「大学」について、高等教育政策、科学技術・イノベーション政策、地方創成政策の3つの異なる観点から、政府の進める施策や具体的な取り組み事例を中心に紹介します。

今後、産学官様々な分野で知識集約型社会の担い手として活躍が期待される学生の皆さんの多くの参加をお待ちしております。

日時: 7月14日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法: オープンホールによる対面

西條 正明 先生

平成5年 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。

平成5年 科学技術庁に入庁。

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官(戦略イノベーション推進プログラム(SIP)担当)、文部科学省研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)、研究開発局原子力課長、科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課長、高等教育局学生・留学生課長、大臣官房参事官(人事担当)、大臣官房総務課長を歴任。

令和4年7月より現職。

担当: 工学系教育研究センター 小崎 完教授